

v学校だより しおやき

NO.2

～明るいあいさつとわくわく感がある学校～

市川市立塩焼小学校 児童数801名(4月10日現在)
令和6年4月12日(金)発行
TEL 047-397-1231 FAX 047-397-1232

学校教育目標

命 はなまる!

かしこく 誇らしく ねばり強く

【めざす児童像】

- ・ 考え、判断する子
- ・ 自分も相手も大切にできる子
- ・ 体をきたえ、ねばり強く取り組む子

校長 吉田 直美

明るいあいさつとは、どんなあいさつ？

塩焼小学校には「目指す学校像」が4項目あります。そのトップに書かれているのが、

「明るいあいさつとわくわく感がある学校」

です。

4月1日の着任時に本校職員にアンケート調査をしました。その中の「本校児童の素敵なおところはどんなところですか。」「本校児童の課題はどんなところですか」という質問項目において、どちらにもあいさつに関することが書かれていました。

素敵なおところには、元気で素直。読書が大好きな子どもたちという多数の回答が集まりました。

それに対して課題は、あいさつと積極性があと一歩という回答が多くありました。

そこで、とっても忙しそうに仕事をしている職員の何人かに「明るいあいさつってどんなあいさつのことですか」と問うてみました。以下がその回答です。

- 「笑顔が輝いているあいさつ」
- 「声が大きいこと」
- 「気持ちのこもったあいさつ」
- 「笑顔で相手の目を見てあいさつ」
- 「声のトーンを明るく。はっきりとした言い方で。」
- 「元気よく笑顔で」
- 「下を向かずに相手の目を見て」
- 「顔を上げて」
- 「目を見てはっきりと」

いかがでしょうか。「明るい」という抽象的な表現もこのように具体的に思い浮かべると、なるほどそうだなあと納得しませんか？

私は、あいさつは合図だと思っています。「ここに自分という存在がいますよ。ここに私の命がありますよ」という合図です。そして、あいさつをしてもらったら、自分もあいさつで応えるというのが大切だと思っています。それが「自分も相手も大切にすること」につながると信じています。

本校職員は、来校者にも気持ちの良い挨拶のできる職員達がいっぱいです。子どもたちにだけでなく、保護者の方や出入りする業者の方にも明るいあいさつをしている職員達を見て、誇らしく感じています。

とはいっても、業務に忙殺されていて、皆様からのあいさつに気づかずに応えられない状況になっている職員もいるかもしれません。その時はどうかご容赦くださいませ。

さあ、来週から、塩焼っ子の「明るいあいさつ」が響きわたり始めますように！